

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 3390101560 | | |
| 法人名 | 医療法人 たくふう会 | | |
| 事業所名 | グループホーム津島の里 | | |
| 所在地 | 岡山市北区津島京町1丁目5-18 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年8月27日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター | | |
| 所在地 | 岡山市北区津高628-1 | | |
| 訪問調査日 | 平成26年9月16日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・ 運営母体が医療法人であり、クリニックの医師や看護師との24時間連携体制により安心してホームでの生活を継続していただけます。また、ご希望により看取りまでの介護を実施させていただきます。
- ・ 季節感を味わっていただけるように行事や外出を行ったり、ボランティアの方による踊りなど日々を楽しんでいただけるように工夫を行っています。
- ・ 身体の不自由な方にも入浴いただける特殊浴槽もあります。
- ・ 岡山駅・岡山インターからも近く、遠方からの面会にも便利です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域に根ざした医療と福祉の融合を目指して、先進的に取り組む母体法人の手厚いサポートを受けながら、今年1月に開所して以来、地域の中で安心して楽しく過ごせるように、また笑顔を引き出すように工夫を重ねて、新しい人や場との関係の構築に取り組んでいます。入居者一人ひとりの入居前の生活に近い環境を整備し、それぞれが役割を持って過ごすことができるように支援しており、管理者やスタッフは心を傾けて聴く態度で臨んでいます。家族会や運営推進会議への参加者が多く、ともに入居者を支えあう関係に期待が膨らみます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | お一人おひとりに目を向け、その方らしく生活できるように工夫している | 管理者と職員は、開設の際皆で話し合い、入居者の笑顔・一人ひとりの個性の尊重を理念に掲げ、地域の中で安心して過ごせるように実践につなげています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 入居者とは一緒に買い物に出かける・近所を散歩する程度だが、地域の方には運営推進会議に参加していただくなどしている。夏祭りもお誘いいただいていたが、悪天候により中止となり交流できなかった | 開所時には見学に来てもらい、町内会に入り、行事に参加できるように取り組んでいます。火災報知機が誤作動した時には一軒一軒挨拶に伺い、運営推進会議での重要課題となったようです。 | 日々の挨拶、各種行事への参加、会議での話し合い、ボランティアの受け入れなど徐々に交流を進め、情報発信しながら地域とのつながりが築かれていくことを期待しています。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 現在のところ実践にはつながっていないが、今後も引き続き、地域貢献に向けて話し合いを進める | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ご家族・地域の方からご意見をいただき、真摯に取り組むようにしている | 家族(多数)・町内会長・民生委員・地域包括支援センターなどの参加を得て2ヶ月毎に開催し、状況報告をするとともに、緊急時・災害時対策など話し合い、サービス向上に活かしています。 | 家族や地域・行政などが協力者やモニター役となって、積極的にまた継続して参加できるように、事業所とメンバーとの交流促進のための工夫を期待しています。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議の際に事業所の実情などを伝えている | 運営推進会議への参加、市福祉職員との連携、地域包括支援センターが近い事もあり、よく出向いて協力関係が築けるよう取り組んでいます。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的な研修を実施し、カンファレンスを行い、随時見直しに努め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 研修を行い、言葉かけなど具体的な事例について話し合い、日頃から気付いたときに注意し、身体拘束をしないケアに努めています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 定期的な研修を実施し、ことばかけに注意し、事例検討を重ねて防止に努めている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強会への参加案内を行っている、新規での活用はない | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 説明を行い、疑問はないか確認している | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | “ご意見箱”の設置、運営推進会議への参加依頼、面会時に要望を聞くようにしている | 入居者との対話を心がけ、家族会(ほとんどの家族が参加)・運営推進会議(参加者多数)・面会時などコミュニケーションをとりながら意見や要望を聞き、それらを反映させています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 年2回の個人面談の他、月に2回全体でのカンファレンスを実施し意見を吸い上げるようにしている | カンファレンスで話し合い、個人面談や日頃からの対話で話を聞く機会が設けられており、テーブルの増設や洗面台の補強など、入居者の安全や利便性につながることなどはすぐに対応しています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 勤務状況を把握し、働きやすい環境整備に努めている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 仕事を通してだけでなく、法人内の研修の他、外部研修の案内を職員に周知し、介護技術の向上を目指すようにしている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修などに参加し同業者との交流を持ち、サービスの質の向上に努めている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 全職員、入居者との信頼関係構築に気を配り、申し送りなどで情報を共有している | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族の意向や要望をうかがい、信頼関係が築けるように密に連絡を取るよう心がけている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 家族からの入居の相談が多く、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーからの問い合わせも多く、話し合いに努めている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 生活の場となるよう、入居者とともに日常の家事を行うようにしている | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会を自由に行えるように配慮し(夜間帯を除く)、家族との外出も行ってもらっている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族の協力を得てなじみの場所に出かけたり、行きつけだった美容師に訪問してもらうなどしている | 家族や友人の面会、外出、行きつけの美容師の訪問など、家族の協力も得ながら、馴染みの人や場との関係継続の支援に努めています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 孤立しないように声掛けを行い、周囲とのかわりが持てるように気を付けている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 本人死亡による退去だが、今のところ必要に応じて連絡を取っている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 意向を確認、困難な時はご本人の生活がサポートできるようにカンファレンスで話し合っている | 本人・家族から聞き取り、畑作りや家事など入居前の生活に近い環境を整備し、役割を持った生活ができるようにサポートしていません。家族から側溝にめだかを放流してもらい、懐かしい暮らしの演出にも努めています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人・ご家族・後見人・これまで利用のサービス事業所などから聴いている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ご本人・ご家族・後見人・これまで利用のサービス事業所などから聴いている | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | カンファレンス時に各人について検討を行い、以後プランを作成している | 定期的・必要時のモニタリング、毎日の記録、医師や看護師の意見、家族からの返信シートなどを参考に、月2回のカンファレンスで話し合い、それらのアイデアを反映しながら、現状に即した計画作成に努めています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録、申し送りノートの活用、カンファレンスでの検討をしている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 一人ひとりの状態や家族の意向を聞きながらサービスを提供している | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 買い物などでの地域資源の活用を行っている | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医と連携を取りながら適切な医療が受けられるようにしている | 母体法人の医師の訪問診療、他の診療科への受診、訪問看護師、24時間のサポート体制など、適切な医療が受けられるよう支援されており、安心につながっています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携ノートなどを活用している | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時の情報提供は行っている | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に説明と同意を得て、状況によりその都度医師からの説明を行い、関係者でカンファレンスを実施し、終末期の対応を行っている | 契約時の説明と同意、変化に伴う医師からの説明、看護師との連携、24時間のサポート、関係者によるカンファレンスの実施など、重度化や終末期に向けて支援に取り組んでいます。 | 特殊浴槽の設置や医療法人の手厚いサポートなど環境整備がなされており、本人・家族の望む方向での支援に向けて、これからも学びや話し合いを進め、実践につなげていかれることを願っています。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 看護師による指導やグループとしての研修に参加している | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 日中の防災訓練は実施、夜間の訓練は10月予定、地域との協力体制が今後の課題である | 開所前、職員が泊まりこんで夜間対応の問題点を検討したそうです。火災報知機の誤作動騒ぎを受け、運営推進会議で今後について話し合い、備品・備蓄についても見直しています。 | 災害は多岐にわたり、突然起こるものですが、日頃から備品の整備や消火器の位置などを確認してシュミレーションを行い、地域・関係者との協力体制を築いていかれる事を期待しています。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 接遇についてカンファレンスで話し合い等行っている | 接遇について学び、「ムラ」のある入居者には変化に即した対応、慣れ親しんだ「呼称」での呼びかけ、同性介助など、一人ひとりに配慮してさりげない言葉かけや態度で接しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日頃から声掛けを行うようにしている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人の生活リズムを大切にしている | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 自己決定できる方には自分で服を決めてもらっている | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | それぞれの能力を活かし、調理や配膳・片づけなどを入居者とともに行っている | 買物同行や収穫野菜を利用したり、業者による食材の配達や献立表も併用し、一人ひとりの好みや力を活かしながら、三度三度手作りし、入居者と職員と一緒に準備・食事・片づけを行っています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事・水分摂取チェック表を活用。水分があまり摂取できない場合はご本人の嗜好を確認しながら支援している | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 訪問歯科を活用しており、積極的に口腔ケアに取り組んでいる | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を活用。定期的なトイレ声掛けも行い、可能な限りトイレで排泄できるように支援している | 時間や回数を表にした詳細な排泄チェック表をもとに様子を見て声かけし、失敗しても誘導しトイレで排泄できるように自立に向けて支援しています。家族から習慣を聞き取り、夜間の時間帯にも誘導しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事面・水分摂取に気を付け、排便確認を行っている。便秘が継続の時は医師の指示を仰ぐようにしている | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | できるだけ本人の希望に添えるように声掛けを行っている | 特殊浴槽が整備されており、ストレッチャーでの入浴が可能です。同性介助やその日の気分や体調に配慮しながら、個々にそった支援に努めています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の休息の声掛けなども含め個々に対応できている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 医師・看護師と連携をとりながら、適切な服薬支援と変化の確認に努めている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 今までの日常生活が継続でき、気分転換できるように支援している | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 外出の頻度は入居者によりばらつきが大きく、外出がほとんど行えていない方もいる | 散歩・買物・庭のめだかの観察・野菜の収穫など日常的に戸外に出かけるようにしており、車椅子での外出も可能な車を配備し、普段は行けないような場所でも少人数のグループであちこちドライブに出かけています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族の理解が得られた場合はご本人が所持している場合もある。買い物など使える機会の提供を行っている | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話については支援を行っている。手紙については現在のところご希望はない | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 安心して共用空間で過ごせるように配慮し、季節感が得られるようにしている | 建物は清潔で明るく、浴室・トイレは広々としており、リビングはちぎり絵や折り紙などが展示され、ソファやテーブル・椅子が置かれ、居場所を選んで居心地よく過ごせるように工夫されています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | お一人お一人の空間を大切に、皆で楽しく過ごせるだけでなく、一人での居場所も持てるようにしている | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご家族にも協力いただき、ご本人が居心地良く過ごせる空間作りに努めている | 居室には手洗い設備があり、毎週シーツ交換してベッドの下などすみずみまで掃除をしており、清潔が保たれています。入居者は好みのものを持ち込んで配置し、居心地のよい空間を作っています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 迷わずトイレに行けるように、ご入居者にちぎり絵で案内を作ってもらっている | | |